









雪谷文化センター常設展除幕式(平成 26 年 6 月 18 日)：右から金澤翔子さん、松原忠義大田区長、金澤泰子さん、清波区議会副議長、長久保連合会長(嶺町)、小原連合会長(久が原)、永久保連合会長(雪谷)、菅野雪谷文化センターひろばの会会長



雪谷文化センター常設展作品の前で松原区長と金澤さん母子

# 金澤翔子プロフィール

年次	雪谷文化センターとの関連事項	主なことから
平成2年 (5歳)		<ul style="list-style-type: none"> <li>母・金澤蘭風(泰子)に師事、書道を始める</li> </ul>
平成7年 (10歳)		<ul style="list-style-type: none"> <li>初めて「般若心経」を書写する</li> </ul>
平成17年 (20歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月ロビー展示。第1回席上揮毫</li> <li>10月ふれあいまつり第2回席上揮毫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀座書廊に於いて個展「翔子 書の世界」を開催</li> <li>第13回泰書展(上野の森美術館)に初出品。以降毎年出品</li> </ul>
平成18年 (21歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月ふれあいまつり第3回席上揮毫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>善立寺、大恩寺、江東メモリアルに於いて個展、席上揮毫</li> </ul>
平成19年 (22歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月ふれあいまつり第4回席上揮毫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京芸術劇場にて5メートルの大壁紙に席上揮毫</li> <li>瑞輪寺(上野)にて7.5メートルの大壁紙に席上揮毫</li> </ul>
平成20年 (23歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月ふれあいまつり第4回席上揮毫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>銀座松坂屋に於いて個展</li> </ul>
平成21年 (24歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月ロビー展示。第5回席上揮毫。母の泰子さんによる講演</li> <li>10月ふれあいまつり第6回席上揮毫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建長寺(鎌倉)に於いて個展、席上揮毫。以降毎年開催</li> <li>建仁寺(京都)に「風神雷神」を公開。個展、以降毎年開催</li> </ul>
平成22年 (25歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月ふれあいまつり第7回席上揮毫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マンダリンホテル(日本橋)に於いて席上揮毫</li> <li>鎌倉宮(鎌倉)に於いて個展、席上揮毫</li> <li>郵便局発行年賀状文字揮毫。以降毎年</li> </ul>
平成23年 (26歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月ふれあいまつり第8回席上揮毫(絆)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>増上寺(芝)に於いて席上揮毫</li> <li>ナゴヤドームに於いて席上揮毫</li> <li>NHK大河ドラマ「平清盛」題字揮毫</li> <li>東大寺(奈良)に於いて個展、席上揮毫</li> </ul>
平成24年 (27歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月ふれあいまつり第9回席上揮毫(飛翔)</li> <li>12月4日人権講演会(アプリコにて)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR京都駅 伊勢丹・大階段に於いて席上揮毫</li> <li>瀬戸内市立美術館に於いて個展、席上揮毫。以降毎年開催</li> <li>上野の森美術館に於いて個展。以降毎年開催</li> <li>熊野本宮大社(和歌山)に於いて奉納揮毫</li> <li>高野山・金剛峰寺に於いて席上揮毫</li> <li>京都文化博物館に於いて個展、席上揮毫</li> <li>東京芸術大学に於いて個展、席上揮毫。以降毎年開催</li> </ul>
平成25年 (28歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月ふれあいまつり作品展示「共に生きる」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三井寺に於いて個展、席上揮毫</li> <li>中尊寺に於いて個展、席上揮毫</li> <li>斜陽館(太宰治記念館)に於いて個展。以降毎年開催</li> <li>国体・東京大会(味の素スタジアム)に於いて巨大文字「夢」揮毫</li> <li>紺綬褒章受章</li> </ul>
平成26年 (29歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月18日 日常設展開設式</li> <li>10月ふれあいまつり第10回席上揮毫予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御製(天皇陛下の詠まれた短歌)を揮毫</li> </ul>

プロフィールは許可を得て、金澤翔子さんの公式ホームページから抜粋させていただきました

## 「書家 金澤翔子常設展」の開設にあたって

金澤翔子さんは、5歳の時に、母である泰子さんの指導を受けて書道を始めたことが書の道へ進むきっかけとなりました。その後、20歳で初の個展を開催し、今では日本各地で個展や席上揮毫、講演に招かれて広く活躍しています。

特に、国体での大字揮毫「夢」やNHKの大河ドラマ「平清盛」の題字揮毫、天皇御製の揮毫などは、多くの人達に感動と希望を与えました。また、東日本大震災でも書を通して被災地の皆さんと交流し、復興に向けて笑顔と勇気をお届けしました。

さらに来年（平成27年3月）は、ニューヨークにあります国連本部でのスピーチを予定しております。

このように活動の場を世界へ広げている金澤さんですが、今でも大田区立雪谷文化センターを活動の原点としてご利用いただいております。その無垢な光り輝く存在は、正に“地域の宝”といっても過言ではありません。

そして今、金澤翔子さんを応援する声は、近隣の皆さんをはじめ自治会・町会や利用者団体など広く地域全体で高まっております。


この度、雪谷文化センターを利用されている方々の提案がきっかけとなり、金澤翔子さんにもご快諾いただき、その貴重な作品を常設展示できることとなりました。いつでも身近な場所で鑑賞できることは、私たち区民にとってこの上ない喜びであり、至福なひと時を共有させてくれるでしょう。

私たちは、この常設展示が、地域住民をはじめ広く区民の皆様が書や文化・芸術に対して親しむきっかけとなることを期待しております。


そして書家 金澤翔子さんを応援して下さる地域の輪がさらに広がり、人と人の笑顔と温もりがあふれる魅力的な地域社会になっていくことを心から願っております。

平成26年6月18日


大田区 長

松原 忠義 

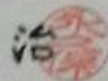
磯町地区自治会連合会 会長

長久保 弘 

久が原地区自治会連合会 会長

小原 洪一 

雪谷地区自治会連合会 会長

永又保 孝治 

雪谷文化センターひろばの会 会長

菅野 利雄 